



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

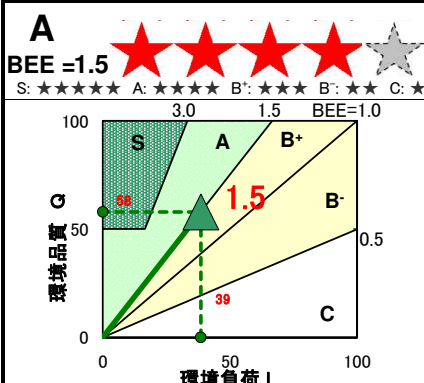
1-1 建物概要

| | |
|---------|--------------------------|
| 建物名称 | パークタワー大阪堂島浜 |
| 建設地 | 北区堂島浜2丁目 |
| 建築用途 | 共同住宅、ホテル、事務所、飲食店舗 |
| 建築主 | 三井不動産レジデンシャル(株) |
| 設計者 | 清水建設(株) |
| 敷地面積 | 5,755.23 m ² |
| 建築面積 | 3,174.42 m ² |
| 延床面積 | 74,673.27 m ² |
| 構造/階数 | RC造 / 地上40階、地下1階 |
| 完了年(予定) | 2027年1月 |

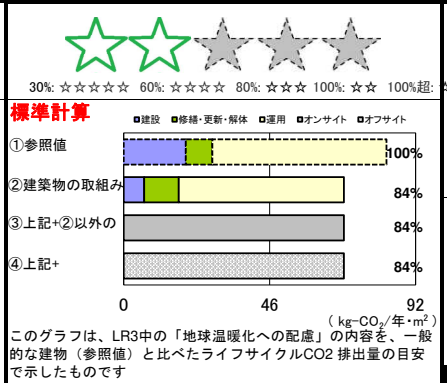
1-2 外観



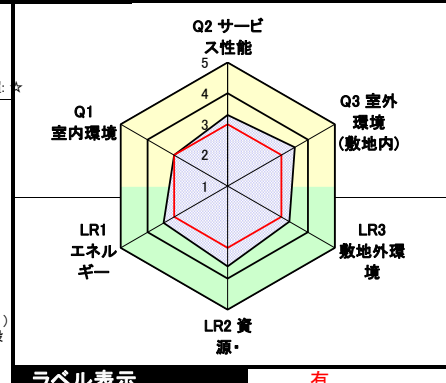
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



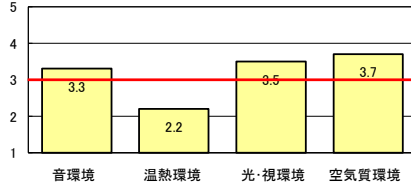
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 3.3

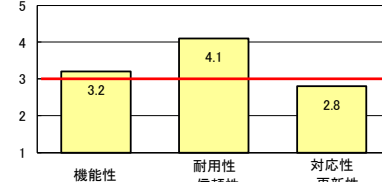
Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0



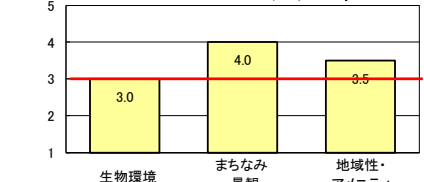
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3



Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.5

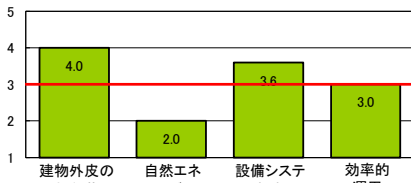


LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 3.4

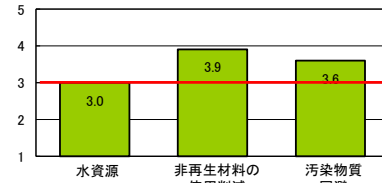
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4



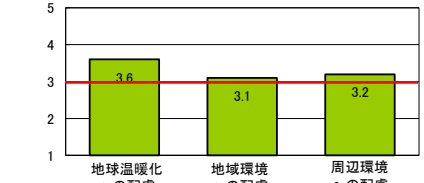
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3



3 設計上の配慮事項

総合

堂島川右岸に位置する共同住宅とホテルの複合建物である。沿道の都市景観への配慮と都市景観におけるランドマークとしての位置づけを十分理解するとともに、総合設計制度を活用し、事業性と同時に自然と親しむ内外の環境創造と地球環境負荷の低減に取り組んだ。

その他

既存の建物の地下躯体を架設利用する建物の配置計画とし、廃棄物削減・周辺建物地盤や地下埋設物への影響の低減・液状への対策等を総合的に考慮した計画とした。

Q1 室内環境

遮音間仕切等採用による音環境や高い昼光率確保による光環境への配慮に加え、ホルムアルデヒドの発散を抑制したF☆☆☆☆建材の採用や、大きな開放可能な窓により、空気質環境の向上を図り住宅の居住性能水準の確保に努めた。

Q2 サービス性能

免震装置の導入や、躯体長寿命化、更新間隔が長い換気ダクトや給排水管の採用などにより、耐用性・信頼性を向上させると共にSI工法の採用により、将来に渡る間取りの可変性を高め良質な住宅ストックとなるよう計画した。

Q3 室外環境(敷地内)

公開空間を結ぶ南北の貫通道路等により、居住者・施設利用者の利便性に配慮し、また、敷地内外の諸機能を繋げる緩やかな緑のネットワークを計画するなどにより、地域性への配慮や景観への配慮を行った。

LR1 エネルギー

Low-Eガラスや適切な断熱計画により住居部の外皮性能を高め、建物外皮の熱負荷抑制を図った。また、住戸給湯に高効率給湯器(エコジョーズ)を使用、各所に全熱交換型換気ファンを設置するなどにより、設備システムの効率化を図った。

LR2 資源・マテリアル

リサイクル材を使用した建材の採用や、仕上げ材を躯体と容易に分離可能なものとするなどにより、非再生材料の使用削減に努めた。

LR3 敷地外環境

省エネルギー化や躯体の長寿命化によりライフサイクルCO2排出量を抑制して、地球温暖化に配慮している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



| 環境性能 | 評価点 |
|----------------|---------------|
| (1)CO2削減 | 4.0 |
| CO2削減に配慮した環境性能 | 概要記入欄 |
| LR3/ 1 / / | 地球温暖化への配慮 3.6 |
| 配慮事項 | LCCO2排出量削減に配慮 |

| 環境性能 | 評価点 |
|-------------------------|----------------|
| (2)みどり・ヒートアイランド対策 | 3.0 |
| みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能 | 概要記入欄 |
| Q3 / 1 / / | 生物環境の保全と創出 3.0 |
| Q3 / 3 / 3.2/ | 敷地内温熱環境の向上 4.0 |
| LR3/ 2 / 2.2/ | 温熱環境悪化の改善 3.0 |
| 配慮事項 | 一部に壁面緑化を計画 |

| 環境性能 | 評価点 |
|----------------|--------------|
| (3)建物の断熱性 | 4.0 |
| CO2削減に配慮した環境性能 | 概要記入欄 |
| LR1/ 1 / / | 建物の熱負荷抑制 4.0 |
| 配慮事項 | 断熱性能に配慮 |

| 環境性能 | 評価点 |
|----------------|-----------------|
| (4)エネルギー削減 | 4.0 |
| CO2削減に配慮した環境性能 | 概要記入欄 |
| LR1/ 3 / / | 設備システムの高効率化 3.6 |
| 配慮事項 | 高効率設備の採用に配慮 |

省エネルギー基準計算結果

| | |
|--------|----|
| 基準適合状況 | 適合 |
|--------|----|

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

| | | | |
|------------|----------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 外皮性能 | 住宅部分（品確法等級） 等級4 (相当) | 非住宅部分[BEI][BEIm] - | |
| | | | |
| 一次エネルギー消費量 | 建物全体[BEI][BEIm] 0.94 | 住宅部分[BEI] 0.94 | 非住宅部分[BEI][BEIm] - |
| | | | |